

長野高専国際交流センターは、国際的に活躍する人材の育成を目的としています。  
グローバル化に伴い、アジア諸国や北米の教育機関との交流を通じ、学生・教職員の国際的な経験の涵養をめざすとともに、世界へ挑戦してゆく学生たちのサポートを行っています。

長野高専の  
国際交流  
活動

2025年度は前年度に引き続き、7か国での海外研修を実施し、65名の学生が参加しました。  
高専生の海外活動支援事業を活用し、派遣されたすべての学生に支援金(万円～21.5万円/人)を支給することができました。  
また海外からの受け入れについては、協定校などから34名の学生が来校しました。  
2026年度も留学生の受け入れ、本校学生の海外研修を実施予定です。ぜひご参加ください。

【令和7年度実績】

2025年度実施  
派遣プログラム

- ・北アルバータ工科大学(=NAIT・カナダ)10名
- ・サスカチュワンポリテクニク(=SASK・カナダ)10名
- ・リパブリック・ポリテクニク(シンガポール) 14名
- ・香港IVE(香港) 12名
- ・ダナン工科大学(ベトナム) 5名
- ・環境省(カンボジア) 3名
- ・学会参加・タイテクニカルカレッジ(タイ)4名
- ・タイ日高校生サイエンスフェア(タイ) 4名
- ・ベトナム・シンガポール企業 4名

2025年度実施  
受け入れプログラム

- ・7月(2週間) 北アルバータ工科大学(=NAIT・カナダ) 8名
- ・9月(2週間) テクニカルカレッジチョンブリ校(タイ) 10名
- ・10月(1か月) KOSEN-KMITL(タイ) 12名
- ・10月(1週間) プリンセスチュラポーサイエンスハイスクール(ピッサヌローク校) 4名

<https://www.nagano-nct.ac.jp/guide/sup/international-exchange>



海外研修の詳細はこちら  
からご覧ください。

■ 令和8(2026)年度 国際交流の予定

令和8年度の海外研修希望アンケートを実施中  
です！※申込とは関係ありません



<https://forms.gle/PkSB5a5z3TSRkupP8>  
回答締切：4月6日(月)

4月22日(水)  
16時から  
B501大講義室で開催

本校主催  
海外研修説明会

応募締切：5月8日(金)

本校主催  
夏の海外研修  
カナダ、香港、シンガポ  
ール、タイ、ベトナム、  
インドネシア、カンボジア

タイ日高校生ICTフェア  
(TJ-SIF2026)

本校主催  
海外研修報告会

トビタテ！留学JAPAN  
応募学生募集



タマサート大学  
学生受け入れ

外国人留学生  
ホームステイ事業

KOSEN-KMITL  
1か月受け入れ

外国人留学生  
ホームステイ事業

北アルバータ工科大学  
学生受け入れ(7月)

東京日本語教育センターとの交流会  
(8月、10月)

他高専、他機関主催海外プログラム(国際交流支援係から随時メールでご案内しています)

# 令和7(2025)年度 参加学生からの「声」

## 5E 関口 蒼生さん



高専最後の思い出に、とダメもとで海外研修に応募したところ、なんと当選し、夏休みに2週間のシンガポール研修に行ってきました。シンガポールを選んだ理由は、多民族・多文化社会での経験がしてみたかったことと英語力の向上が主な理由で、シンガポールが最適だと考え選びました。

現地の学生との交流会では、日本の文化として折り紙とオノマトペの紹介を行いました。準備は大変でしたが、当日の盛り上がりを見てやってよかったと思いました。協力してくれた皆さん本当にありがとうございました。

休日はいろんなところに遊びに行きました。マーライオンやマリナーベイ・サンズ、ガーデンズ・バイ・ザ・ベイを見たり、セントーサ島でハーリー・ポッターのアトラクションを楽しんだり、お隣のマレーシアへ遊びに行ったり、と。

中でもガーデンズ・バイ・ザ・ベイのナイトショーは毎日でも見たいと思うぐらい最高でした。

今回の研修を通して、私の視野は大きく広がりました。多民族が一つの国で共に暮らすシンガポールでの経験は、自分の価値観や考え方に大きな影響を与えました。研修の中で不安や苦労は多々ありましたが、今回の研修に参加でき本当に良かったと思います。



## 2-5 佐々木 花歩さん

私が参加したカナダSASKでの海外研修は、壮大な自然と温かな人々に囲まれ、自分自身を大きく成長させてくれる貴重な時間となりました。

現地では、日本では決して味わえない解放感あふれる環境で過ごしました。特に、見渡す限り広がる湖でのカヌー体験や、夜空に僅かですがうっすらと現れた幻想的なオーロラを仲間と見上げた時間は、一生忘れることのできない大切な思い出です！こうした豊かな自然に触れる中で、世界の広さを肌で感じることができました。

一方で、生活の中では難しいと感じる場面がありました。特に言葉の壁は高く、自分の



## 3MR 山浦 早織さん

私は、12月の半ばにタイへ海外研修に行きました。参加のきっかけは、2年次に行われたエンジニアリングデザイン入門で私たちのグループが選出され、TJ-SSFというタイで行われているサイエンスフェアに参加することができるようになったからです。

今回の研修では、長野高専の協定校とTJ-SSFの開催校で10日間ほどの研修を行いました。



学校では、朝礼への参加や歓迎式、学校施設の見学を行いました。タイの学生たちはみんなフレンドリーで、学校が終わった放課後にみんなで集まって寮でパーティーをしたりして私たちを歓迎してくれました。

TJ-SSFでは、英語での口頭発表やポスター発表、サイエンスアクティビティに参加しました。自分たちの研究を英語で説明することは難しかったです。質疑応答で質問の内容が聞きとれず、答えることができなかったのが心残りです。また、ナイトマーケットやフェアウエルパーティーでは、日本やタイの学生と交流を深

めることができ、忘れられない思い出になりました。

この研修を通して、英語力だけでなく、異文化を理解し、積極的に関わろうとする姿勢の大切さを学びました。最初は不安もありましたが、参加して本当に良かったと感じています。今回の経験を、今後の学習や進路に活かしていきたいです。



意思が上手く伝わらずに悔しい思いを何度もしました。しかし、現地の文化にたくさん触れながら必死にコミュニケーションを図る中で、「完璧な英語よりも、とにかく何か言葉を発して相手に伝えようと頑張る」ということの大切さに気づかされました。この葛藤を乗り越えた経験が、今の私の大きな自信に繋がっています！

この研修を通じ、私は「まずは挑戦してみる」という前向きな姿勢を学び、自分の可能性をより広く信じられるようになりました。このような素晴らしい機会を与えてくれた家族や周囲の支えに心から感謝し、ここで得たかけがえのない経験をこれからの学業や生活にしっかりと活かしていきたいです！